



旅の楽しさ誘う走り旅

浅井保弘

日本最初の縦断走り旅大会の為日本列島北の果て寒風吹き荒ぶ宗谷岬に続々と集まってきた、暇で時間を持てあました馬鹿なジャーニーランナー達くせ者揃いの12人衆と番外独り、清水の次郎長親分ならず、呼びかけ人のMを筆頭に遠軽の自由人M、遠州袋井の掃きだめに鶴K、生駒の侠客T、太秦の役者N、尾張名古屋はKで保つ、中山道桶川宿のT、三州吉良仁吉の舎弟W、越後の走人T、武州の旅人S、房総八千代のM、尾州の阿呆浅井、武蔵の番外N。

馬鹿は走らなきゃ直らない、地図は読めるが度胸も走力も無い尾州の阿呆。

時は平成25年晩夏、はかない時の過ぎ去る人の世、旅の衰れを誘う走り旅、

オホーツク海の砂嵐と雨が吹き荒ぶなか合羽をバタつかせ尾羽打ち枯らした走り旅一家佐多岬までの夢と希望を持ち不安渦巻く初日の走り。

貴方はそちらへ行くのね尾張の阿呆はこちらへ行くは今日でお別れもう会えないかもとインターチェンジでお別れしたが私が馬鹿だった、未熟な私は勘違い遙かコースを離れてしまったのね、でもいいわ別の街道見つけてコースに戻ったから、転んでもただでは起きないわ、知らない街道見つけたからコースミス許してください。

顔で笑って足の痛みに堪え走って直すしか無いので走り続けはしているが宿は恋しい、身体は恋しい腹はひもじい早く楽になりたい。

雨のカムイコタン廃線跡の自転車道コース通行止めの標識、先頭グループは先に行っているに違いない柵を乗り越え、フェンスを飛び越えて、トンネルは封鎖されてこれは駄目でも後には戻れない、先に人は行っているトンネルの外側を獣道に藪こぎ突入突破して雨にけぶる旧駅舎と蒸気機関車を見たとき新鮮に記憶された。

ところが先頭グループはコースミスしたとき、さーよいよい。

他人が観れば羨ましいジャーニーラン、元気で達者な振りして前向いて心切ない古里恋し。毎日毎日ひもじい思い食べても食べても痩せて疲れた身体に夕食はコンビニ弁当、冷や飯に身を任せ、何処のどなたか声掛けて、何していると問われれば日本縦断中の答えに聞く人は皆口をポカリ開けて頑張ってくださいと、元気でいいですねと言われてみればカラ元気でも走ってみせる。

天塩中川のソフトクリーム、札幌の食フェスタ、小樽市場の三色丼、平泉のシュークリーム、花巻の大判焼、甘酒茶屋の力餅、小田原のB級グルメ展、江尻の追分羊羹、下関市場のふく唐揚げ、新三郎の白玉善哉、美味しいもの沢山食べた。

エイドサポートも沢山助けて頂いた、鰻丼にステーキ丼、豚汁にカツサンドありがとう。小月のばあちゃんが日本縦断する元気な人を見るのは初めてだわとありがたいから、ばあちゃんに何か出来ることはないか、せめて寄付をさせてほしいですが。

ありがとうございます、生身の走人に合掌でなく、神社やお寺の方が御利益がありますよ、丁寧にお断りして、声を掛けて頂いただけで頑張れます。

石、ごろごろの峠道先を急ぐ寂しい尾根でホットしたら脚を踏み外し腰がギックリとウーンうなってしゃがみ込む、下りはへっぴり腰でひよこひよこ、この後2週間顔を洗うことも儘ならず、部屋をはい回り、和式トイレで鉄パイプにしがみつき私を捨てないで、佐多岬まで連れってって。

足は痛いはずぐり腰は治らないあげくは風邪で頭が痛く鼻水は止まらない三重苦でも何事も無いが如く朝、宿を立ち夕方へとへとで尾羽打ち枯れて部屋に倒れ込む日々。

これがあこがれの日本縦断ジャーニーランなのか？

頭は疲れて真っ白で考えられない、「見てみて母さんあの人の足すごい筋肉で真っ黒け」どうしてギリシャ彫刻の様な筋肉になるのかと尋ねられても言葉が詰まる。

ただ重いだけの駄馬の足、せめてもう少し早く走りたいが素質が無いのは如何せん。

歩いて前に進むだけ、グットポイントに少しでも寄りたくても最終ランナーではまたまた遅れるばかり見学も儘ならぬが、朝靄の川面や山の景色に堪能し遠くから望む五重塔、寺の屋根、神社の鳥居、大木を見上げて圧倒され、金木犀、山梔子の香りに酔って身体の疲れも忘れてしまいます。

老眼を上げて地図を必死に読み街の中を時の経つのも忘れて夢中で街道を進む時、三太郎峠で標識に従い藪こぎしていれば楽しく気が付けば宿に近づいて行く。

儂すぎる人の世の旅の楽しさを誘う、佐多岬にたどり着けば夢も希望も不安も無くなり安堵すると共に身体の力は抜け脱力感漂い無気力で魂忘れた人形の如く、明日の希望も無い寂しさに項垂れて向かう宿への帰り道。

酒を飲んで忘れたら明日の希望もやっぺこよう、夢をひとつ越え又越えて次の夢に向かって前進出来る幸せ・・・ジャーニーラン万歳